

キャリア発達・教育に関する研究 (17)

ー職業志望動機と専門性・コミュニケーションとの関係ー

○ 苗田敏美 (金沢大学)
国眼眞理子 (東北公益文科大学)

松下美知子 (金沢大学)

1. 問題と目的

2013 年度日本経済団体連合会が発表した「新卒者採用 (2013 年 4 月入社対象) に関するアンケート調査結果」 (https://www.keidanren.or.jp/policy/2014/001_kekka.pdf) によれば企業が選考にあたって特に重視した点は「コミュニケーション能力」 (86.6%) で、2004 年以来 10 年連続 1 位となっている。コミュニケーションはあらゆる業界で必要とされているが、医療系でも同様である。松下ら (2012) でもコミュニケーション能力は重要な職業的能力として実習前・後とも重視されていた。

本研究では、人と接する機会が多い医療系の学生たちが職業とコミュニケーションについてどのような認識を持っているか、また、その認識と志望動機との関係を明らかにすることを目的とする。

2. 方法

2.1. 調査対象 医療系 3 年制専門学校の 2 年生 53 名 (全員女性)。

2.2. 調査時期 2012 年 9 月、および 11 月。

2.3. 手続き 質問紙調査 1 (9 月実施)・質問紙調査 2 (11 月実施) を授業中に配布し、回収 (回収率 100%)。

【質問紙調査 1】 ことばやコミュニケーション、職業イメージなどに関する項目についての自由記述。質問項目は「コミュニケーションとは」、「対人関係で日頃気をつけていること」などである。

【質問紙調査 2】 職業志望動機や自分が選択した医療職についての見方・考え方の自由記述。具体的な項目は「この医療職に就こうと思った理由」、「この仕事に必要なこと」、「この仕事に求めること (期待すること)」などである。

3. 結果と考察

3.1. 学生のコミュニケーションに対する意識

「コミュニケーション」についての記述を分類すると、(1) 人との関係性、(2) 会話、(3) ことば、ジェスチャー、表情などを使って相手に気持ちなどを伝える、となる。

この結果を踏まえ、本稿では、「コミュニケーション」とは言語的手段、および非言語的手段を用いて相手に意志を伝えたり、相手の意志を理解することとする。つまり、ビジネス場面で求められる「折衝能力」「交渉能力」「説得能力」に限らないものとする。

3.2. この仕事に必要なこと

多かった項目は「技術」30 名 (56.6%)、「知識」23 名 (43.3%)、「思いやり」17 名 (32.0%) であり、専門性に関する記述が多く見られた。直接「コミュニケーション」と記述した学生は 13 名 (24.5%) であったが、その内容を見ると全員が何らかのコミュニケーションに該当する表現を記入していた。

3.3. この仕事に求めること

「あなたが患者だったら、担当の医療従事者に求めること (期待すること) は何か」を 3 項目挙げてもらった。多かった項目は「優しさ」37 名 (69.8%)、「技術」36 名 (67.9%)、「笑顔」14 名 (26.4%)、「気遣い・気配り」11 名 (20.7%) であり、コミュニケーションの項目が上位に入っている。「コミュニケーション」と直接記入した学生は 2 名 (3.7%) であったが、コミュニケーションに該当する項目を挙げたものは 52 名 (98.1%) であった。

3.4. 志望動機とこの医療職において必要とされる要素との関係

志望動機は「興味」(15 名)、「資格」(12 名)、「あこがれ」(11 名) と続く。

志望動機が「資格」「安定 (給料が高い)」「就職率が高い」としたもの (7 名) はこの医療職に必要な項目に専門性 (技術や知識など) を挙げた割合が高く (52.3%)、コミュニケーションは 47.6% であった。志望動機が医院でのアルバイトなどの「経験」や通っていた医院で働く人やこの仕事をしている身近な親族への「あこがれ」のもの (11 名) は専門性 (15.1%) より、コミュニケーション (81.8%) を重視していた。

この結果より、「資格」「安定 (給料が高い)」「就職率」等が志望動機のもものは、「経験」や「あこがれ」によるものより専門性重視の職業選択をしている。現場を知る学生のほうがコミュニケーションを必要だと考えるものが多い。

3.5. 志望動機とこの仕事に求めることとの関係

志望動機が「資格」「安定 (給料が高い)」「就職率」のもものは、この仕事に専門性 (技術や知識など) を求める割合が 47.6%、コミュニケーション (対人的な印象) を挙げた割合が 71.4% であった。また、志望動機が「経験」や「あこがれ」のもものは専門性が 31.0%、コミュニケーションが 75.8% であった。この仕事に求めることは志望動機に関係なく、コミュニケーションが高かった。